

講師 南 秀明氏

講演④ 「その人らしく生きる〜在宅での緩和ケア〜」

講師 木村哲也氏

（総合討論・質疑応答）

＊日時 令和三年十二月十一日(土)

＊場所 熊本日日新聞社 本館二階

＊参加人員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を百名に限定し開催

第三回(第七十五回肥後医育塾公開セミナー)

「母と児の二つの命を守るために〜産期医療とその連携〜」

コーディネーター(司会)

片瀨秀隆氏

(肥後医育振興会常任理事)

座長 三洲 浩氏

(熊本大学病院 新生児学寄附)

講座 特任教授)

近藤英治氏

(熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座 教授)

講演① 「周産期医療…二つの命を守る ネットワーク」

講師 大場 隆氏

(熊本県周産期医療協議会 会長)

講演② 「産科医療の立場から…母子ともに安全な出産をめざして」

講師 本田智子氏

(熊本市民病院産婦人科 産科部長)

講演③ 「新生児医療〜赤ちゃんを守り 育む最初の一步〜」

講師 岩井正憲氏

(熊本大学病院総合周産期母子医療センター 新生児部門 講師)

講演④ 「周産期医療と地域の関係について」

講師 川上祥一氏

(社会医療法人愛育会 福田病院 病院長)

講演⑤ 「菊池保健所における新型コロナウイルス 太陽性妊婦への対応」

講師 剣 陽子氏

(熊本県菊池保健所 所長)

(総合討論・質疑応答)

＊日時 令和四年一月十六日(日)

＊場所 熊本市医師会館 講堂(熊本市中央区本荘)

＊参加人員 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で開催

総合生活情報紙「あれんじ」
健康・医学・医療・学術記事の執筆・監修

副理事長 山本 哲郎

令和三年度も熊本日日新聞社が発行するタブロイド判十六頁の総合情報紙「あれんじ」(三十五万部発行)の毎月第一土曜日号の十面と十一面の見開き二頁を使い、医学・医療に関する学術情報を県民に提供しました。内容としては「元気の処方箋」(最新の医学医療記事)と「子育て応援クリニック」(小児科関連の医学医療記事)を十二回、「慈愛の心・医心伝心」(女性医療人のリレーエッセイ)を八回、「四季の風」(俳句欄)を四回掲載しました。

なお、これらの全ての記事を肥後医育振興会のホームページに転載しております。どなたでも自由に読めるようになっています。「慈愛の心・医心伝心」などは読者からの感想が毎回のようには熊本日日新聞社に寄せられているようです。以下に「元気の処方箋」の年間テーマを記載します。

- 四月 ステイホームのメンタルヘルス〜人との心理的な距離まで遠くならないように
- 五月 目にも予防医学を〜守りたい子供の目の健康
- 六月 予防や治療の理解につなげたい〜がんの基礎知識
- 七月 どうなっている？ 肝炎・肝がん
- 八月 性の多様性と性同一性障害
- 九月 適切な治療で治る〜骨盤臓器脱
- 十月 良い眠りのために「陰ヨガ」を〜家庭でできるエクササイズ
- 十一月 「陽ヨガ」で一日を元気にスタート〜家庭でできるエクササイズ
- 十二月 正しい知識・迅速な対応を〜大動脈解離
- 一月 適切なスキンケアで防ごう〜乾燥による湿疹
- 二月 無痛分娩の「？」に答えます
- 三月 ある種の疾患群の総称「膠原病を理解しよう」



第75回肥後医育塾公開セミナー